

平成16年1月8日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一

広島大学バイオマスプロジェクト研究センター シンポジウム

環境に優しいエネルギー資源 ～バイオマスエネルギー利用の現状と展望～

の開催について

広島大学バイオマスプロジェクト研究センターでは、「バイオマスエネルギー」について多くの方に知っていただき、また同センターの活動の紹介を行うため、別紙のとおりシンポジウムを開催いたしますのでご案内いたします。

参加費無料で、どなたでもご参加いただけますので多くの方のご来場をお待ちしています。

【お問い合わせ先】

広島大学大学院工学研究科機械システム工学専攻内
広島大学バイオマスプロジェクト研究センター幹事 村松幸彦
(エネルギー工学講座 助教授)

TEL: (0824) 24-7561

FAX: (0824) 22-7193

E-mail: bprc-mgr@thermo.mec.hiroshima-u.ac.jp

[発信枚数: A4版 3枚(本票含む)]

- [バイオマスプロジェクト研究センターからの御案内](#)
- [バイオマスエネルギーとは？](#)

平成16年1月8日

関係各位

広島大学バイオマスプロジェクト研究センター長
菊地 義弘広島大学バイオマスプロジェクト研究センター シンポジウム
「環境に優しいエネルギー資源 ～バイオマスエネルギー利用の現状と
展望～」の開催について(御案内)

この度「バイオマスエネルギー」について多くの方に知っていただき、また広島大学バイオマスプロジェクト研究センターの活動の紹介を行う目的で、下記のとおりシンポジウムを開催することとしました。環境と資源について改めて考える機会にしていだければと思います。

多くの方のご参加をお待ちしています。

記

日時 平成16年1月21日(水)13:00～16:00
場所 広島大学 東千田キャンパス 総合校舎内 205号室
〒739-0053 広島市中区東千田町一丁目1-89

講義プログラム

1. センター長挨拶:菊地 義弘(広島大学)
2. 講演「バイオマスの現状と中国地方の可能性」:村松 幸彦(広島大学)
3. 講演「新しい生物化学変換」:西尾 尚道(広島大学)
4. 講演「産業技術総合研究センターでのバイオマス研究」:美濃輪智朗(AIST)
5. 講演「バイオディーゼルの利用にあたって」:西田 恵哉(広島大学)

総合司会:山田 忠史(広島大学)

参加費 無料

対象者 どなたでもご参加いただけます。

応募方法 当日参加も受け付けますが、会場準備の都合上、1週間前までにはがき、FAXまたは電子メールで申込みいただければ幸いです。

お申込・お問合せ先
広島大学大学院工学研究科機械システム工学専攻内
広島大学バイオマスプロジェクト研究センター
幹事 村松 幸彦

TEL:(0824)24-7561

FAX: (0824) 22-7193

E-mail: bprc-mgr@thermo.mec.hiroshima-u.ac.jp

(注)

地球温暖化が国際的な環境問題としてクローズアップされています。今年の夏の日本の冷夏、シベリア、フランスなどの100人を越す死者を出した猛暑は大気中の二酸化炭素の増加による地球温暖化の現象である可能性も指摘されています。

簡単に言うと、二酸化炭素(以下 CO₂)には「光を通すが、熱を通さない」という性質があります。そのため太陽からの光を取り込むばかりで、地球上で発生された熱を地球外に排出することができず、気温が上昇し「温暖化」ということにつながってしまうのです。

現在私たちが使うエネルギーの主な資源は、化石エネルギーとも呼ばれる石油石炭、天然ガスです。これらの資源は燃焼する際、CO₂を大量に放出します。このため、地球の温度が上昇する地球温暖化が進行していると考えられています。

これに対して、植物はCO₂を吸収して成長します。植物や、これを食べて成長した動物など生物が生産する、例えば、薪や炭などのエネルギーは、作られるときに大気中CO₂を吸収していますので、使っても全体としては大気中のCO₂濃度を増やさない利点があります。

これらのエネルギーをバイオマスエネルギーと呼びます。私たち広島大学バイオマスプロジェクト研究センターは、これらのバイオマスエネルギーをうまく使う技術やシステムの研究を効率よく進めるために平成15年4月に設立されました。